

にぎわいのある水辺空間創出会議(伊勢路川)開催結果

三重県が管理する二級河川伊勢路川において、豊かな自然などの観光資源や、都市部の貴重なオープンスペースとしての価値を有する河川敷地において、治水上、利水上又は河川環境上の支障が生じないように配慮しつつ、快適でにぎわいのある水辺空間の創出を進めることを目的に「にぎわいのある水辺空間創出会議(伊勢路川)」を開催しました。

1 日時 令和3年12月17日(金) 午後7時30分から午後8時30分まで

2 場所 旧穂原小学校(南伊勢町伊勢路)

3 出席者

(委員) ※委員名簿のとおり

(河川課) 水災害対策監 他

4 会議概要

下記の議題について河川課から説明を行い、各委員からご意見・ご提案をいただきました。

〇にぎわいのある水辺空間の創出

河川法改正により、全国的ににぎわいを水辺空間に再生する動きが広がっていることや全国の具体事例を説明し、県内河川において、「にぎわいのある水辺空間」をつくるにはどうしたらよいか、特に伊勢路川では、南伊勢町が実施しているサウンディング調査(伊勢路川河川敷利用)を実施していることから、これとあわせて、ご意見を伺いました。

【主な委員意見】

- ・オートキャンプ場にするなら、河川堤防から車が安全に通行できるようにする必要がある。また、現在、川への斜路は、今一つしかないので、検討が必要ではないか。
- ・下流に漁業をしている人もいるので、トイレ等の排水管理は、特に徹底してほしい。
- ・オートキャンプ場に来たお客さんへの防災教育が必要。町外から来たお客さんは地震が来ても津波がどの方向から来るかも分からないと思うので。
- ・今回の河川敷利用については、総論では賛成だが、細かいところでは、色々問題点があると思うので、よく検討して決めてほしい。

今後は、いただいたご意見について、十分な検討を行い、南伊勢町ともさらに連携し、にぎわいのある水辺空間の創出を図ってまいります。

【会議の様子】

場所:旧穂原小学校



委員名簿

(五十音順・敬称略)

| 氏名 | 所属・職名 |
|--------|--------------------------|
| 安藤 健治 | 南伊勢町地域おこし企業人(近畿日本ツーリスト株) |
| 上谷 和幸 | 内瀬区長 穂原連絡協議会 |
| 奥村 元彦 | 勢和会 会長 |
| 奥村 安久 | 南伊勢町観光協会 事務局長 |
| 角田 保 | 三重県 県土整備部 水災害対策監 |
| 下村 立美 | 伊勢路区長 穂原連絡協議会 |
| 庄下 真史 | 大銀杏を大切にする会 会長 |
| 中村 真理香 | 地元住民 |
| 萩原 ゆかり | 地元住民 |
| 前田 富生 | 南伊勢町商工会 事務局長 |
| 村林 祐弥 | 伊勢建設事務所 総務・管理室 管理課 主任 |